



社会福祉法人練馬区社会福祉事業団が初めて自前で建設するユニット型  
特別養護老人ホーム

## 上石神井特別養護老人ホームが開設

と き 5月1日開設

と ころ 上石神井特別養護老人ホーム(練馬区上石神井2-17-23)

平成24年4月から建設を進めていた上石神井特別養護老人ホームが平成25年5月1日に開設した。この特別養護老人ホームは、社会福祉法人練馬区社会福祉事業団が自己資金で建設する初めてのユニット型特別養護老人ホームである。自己資金で建設したため、法人の自主的な計画に基づき、設計段階から建物レイアウト、設備・備品の選択に至るまで、より独自性や創意工夫を生かすことが可能となった。



(施設の外観)

全国的にみて、地方自治体の外郭団体である社会福祉法人が自己資金で特別養護老人ホームを整備する例は珍しい。

### 【内 容】

上石神井特別養護老人ホームは、練馬区の外郭団体の一つである当事業団が自主的に整備計画を立て、自己資金を活用して整備した初めての特別養護老人ホームである。入居者30名、ショートステイ6名の小さな特別養護老人ホームで、入居者10人(ショートステイは6人)を一つの生活単位(ユニット)として、4つのユニットに分け、各ユニットは全室個室のほか、共同生活室・談話コーナーなどを配置して、プライバシーの配慮とともに、入居者やショートステイの利用者が心地よく過ごせるように、また、地域との交流を大切にしたりしている。

〈施設概要〉 所在地：東京都練馬区上石神井2丁目17番23号

敷地面積：2,000㎡ 建築面積：956.78㎡ 延べ床面積1751.83㎡

建物の構造：鉄筋コンクリート壁、地下1階 地上2階建

### 【運営上の特徴】

#### ①個別ケアを目指すこと。

各ユニットには専任の職員を配置し、入居者・利用者の24時間の暮らしに対応したきめ細かい介護を行い、一人ひとりの生活習慣や個性を尊重した支援を行う。

#### ②日常生活を支援すること。

入居前と入居後の居住環境・生活環境が継続し、生活が連続していると感じることができるように配慮し、各ユニットでは入居者が相互に社会的関係をつくり、自律的日常生活が送れるように支援する。

#### ③安心・安全な介護を行うこと。

当事業団では、入居者・利用者を安心・安全に介護し、心地よく過ごすことができるよう、日進月歩で改善が進む介護機器・福祉機器を積極的に取り入れ活用している。上石神井特別養護老人ホームでは、低床ベッドはもとより、天井走行リフト、多機能型車いすなどを導入して、それぞれの状態に適切に対応した安全・安心な介護を行う。

### 【今後について】

入居者には、商店街での買い物、外食、美容院さらにはお祭りなどにも出かけていただき、地域の一員であることが実感できるようサポートする。また、学校やボランティア、地域の方々との交流を深める開かれた施設とする。